

みずほCustomer Desk Report 2016/12/08 号(As of 2016/12/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	114.16 AUD/USD
TKY 9:00AM	114.08	1.0717	122.28	1.0102	1.2670	0.7472
SYD-NY High	114.40	1.0768	122.59	1.0109	1.2682	0.7483
SYD-NY Low	113.41	1.0710	122.03	1.0066	1.2570	0.7417
NY 5:00 PM	113.75	1.0753	122.30	1.0075	1.2626	0.7481
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	11.585/12.335	△25RR	0.643	Yen Call Over		
NY DOW	19,549.62	297.84	債券市場	日本2年債	-0.1900	0.1bp
NASDAQ	5,393.76	60.76		日本10年債	0.0320	▲1.8bp
S&P	2,241.35	29.12		米国2年債	1.0940	▲2.0bp
日経平均	18,496.69	136.15		米国5年債	1.7895	▲4.5bp
TOPIX	1,490.62	13.42		米国10年債	2.3401	▲4.9bp
シカゴ日経先物	18,665	170.00		独10年債	0.3470	▲2.6bp
ロンドンFT	6,902.23	122.39	為替市況	英10年債	1.3590	▲5.9bp
DAX	10,986.69	211.37		豪10年債	2.7960	▲2.6bp
ハンセン指数	22,800.92	125.77		USD/CNH	6.8961	0.0083
上海総合	3,222.24	22.60	商品市況	ドルインデックス	100.21	▲0.28
USDJPY 3M Vol	11.93	▲0.17%		CRB指数	190.852	▲1.67
USDJPY 6M Vol	12.23	▲0.16%		NY金	1,175.50	5.40
EURJPY 3M Vol	11.44	▲0.24%		WTI	49.840	▲1.09
EURJPY 6M Vol	13.36	0.03%		Dubai Spot	50.99	▲0.89

東京	ドル円は114.08レベルで東京時間オープン。下村自民党幹事長代行が「これ以上は円安にならないことを願っている」との懸念を表明していたことが報じられたものの、ドル円相場への影響は限定的となる。その後、高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大したことや、本邦通信大手による米国向け投資期待もあり、ドル円は堅調な展開。発表された豪第3四半期GDPが予想を下回り、豪ドルが対ドルで下落してドルが買われたこともサポート材料となり、ドル円は小幅ながら上昇し東京時間高値114.31をつけた。昼過ぎには再び114.00を下回る局面もあったものの、すぐに114円台に戻した。引けにかけては下値の堅さも意識され、114円台前半までの底堅い推移が続き、結局114.25レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は114円近辺で揉みあい推移。朝方は114.25レベルでオープン。序盤こそじりじりと上昇して高値114.40をつけたものの、米金利が低下したことに加え、予想を下回る英経済指標の結果を受けてポンド円が下落したことで、ドル円は113円台後半まで弱含んだ。ただその後は大きく下落するには至らず、114円ちょうどを挟んだレンジ推移となり、結局114.08レベルでNYへ渡った。ポンドドルは序盤に1.25台後半まで下落し、その後横ばいの展開。朝方は1.2657レベルでオープン。発表された英10月鉱工業生産が前月比-1.3%(予想:同+0.2%)、英10月製造業生産も前月比-0.9%(予想:同+0.2%)といずれも予想を下回る結果となり、ポンド安が進行。安値1.2578をつけた。その後は1.26ちょうどを挟んでもみ合いとなり、1.2609レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は114.08レベルでNYオープン。米長期金利が低下した他、対ユーロでドル売りが強まったことでドル円はロンドン時間安値の113.90さらに昨日安値の113.50付近のストップを巻き込みながら本日安値となる113.41まで下落。しかし、通信株や不動産株等を中心に米株が大幅に上昇し、最高値を更新する動きを模目にドル円は114円台前半まで回復。但し、米週間石油統計で原油受け渡し拠点での原油在庫が増加したことを受けてWTIが下落したことや、米長期金利が一段と低下したことから上値は限定的となり、113.75レベルでクロスした。一方ユーロドルは1.0732でNYオープン。8日のECB理事会を控え、ユーロゾーンのポジション調整が入るとユーロドルは1.0768まで上昇。しかし、積極的に上値を追う展開とはならず、その後は1.0760近辺での推移に終始、1.0753レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山本・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	豪	独	英	米	Event	結果	予想
12月7日	9:30					GDP(前期比/前年比)	3Q -0.5%/1.8%	-0.1%/2.2%
	16:00					鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.3%/1.2%	0.8%/1.6%
	18:30					鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 -1.3%/-1.1%	0.2%/0.5%
	18:30					製造業生産(前月比/前年比)	10月 -0.9%/-0.4%	0.2%/0.7%
	21:00					MBA住宅ローン申請指数	-	-0.7%

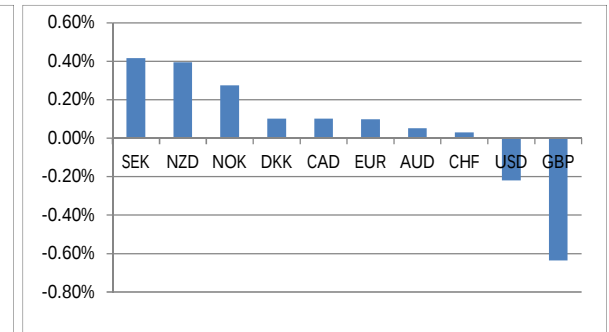
【本日の予定】

Date	Time	豪	独	英	米	Event	予想	前回
12月8日	8:50					経常収支/貿易収支	10月 ¥1,545.0B/¥603.0B	¥1,821.0B/¥642.4B
	8:50					GDP確報(前期比/前期比年率)	3Q 0.5%/2.3%	0.5%/2.2%
	8:50					GDPデフレーター確報(前年比)	3Q -0.1%	-0.1%
	8:50					対外・対内証券投資	-	-
	9:30					貿易収支	10月 -A\$610M	-A\$1,227M
	21:45					ECB理事会・ECB主要政策金利	-	0.000%
	22:30					新規失業保険申請件数	-	257K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.70—114.20	1.0630—1.0780	121.50—123.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル円は軟化した。ECB理事会を控え資産買い入れプログラムの延長が予想される中、米EIA週間原油在庫統計の結果を受けた原油相場の下落を背景に米長期金利が低下し、ドル円も一時113円台後半まで下落。その後、NYダウ平均が3日連続の過去最高値を更新すると、ドル円も連れ高となり113円台後半まで値を戻すも、米長期金利の低下が重荷となり結局113.75レベルでクロス。本日のドル円は上値の重い展開を予想。本日予定されているECB理事会にて資産買い入れプログラムが延長されれば、欧州金利の低下を受けた米金利の低下も予想され、ドル円の重石となりそうだ。